

第九 露國太平洋第二艦隊東航史

左ハ「シツイ、ウエリキー」乗組將校ノ日記ナリ固ヨリ一私人ノ覺書ニ過キサレハ閑文字ノ多キヲ免レサレトモ艦隊ノ行動ニ就キ參考トスヘキ點アルヲ以テ譯スルコト、セリ

第九 露國太平洋第二艦隊東航史(シツイ、ウエリキー)  
(乗組一將校ノ手帳)

第二太平洋艦隊ハ司令長官ロジエストウエンスキー少將ノ命令ニ基キ愈一九〇四年十月十三日  
 ヲ以テリパウヲ出發スルコト、定レリサテ當日ノ陣形ハ左ノ如シ

第一 梯團

少將 エンクウ井スト之ヲ率井ル

- 二等巡洋艦 「アルマーズ」(旗艦)
- 一等巡洋艦 「スウエトラーナ」
- 二等巡洋艦 「ジエムチウグ」
- 一等巡洋艦 「ドンスコイ」
- 運送船 「メテオル」
- 同 「クニヤージ、ゴルチャヤゴフ」
- 驅逐艦 「プレスチャヤシチー」
- 戰艦 「オスラーピヤ」(旗艦)
- 同 「シツイ、ウエリキー」
- 同 「ナワリン」
- 一等巡洋艦 「ナヒーモフ」
- 運送船 「キーマイ」
- 驅逐艦 「フェイスツルイ」
- 同 「ブラーウイ」

第二 梯團

少將 フエリケルザム之ヲ率井ル

第三梯團  
先任艦長エゴリエフ之ヲ率非ル

一等巡洋艦	「アウロトラ」
運送船	「マライヤ」
同	「アオヅイリ」
工作船	「カムチヤトツカ」
驅逐艦	「ベヅウプリョーチヌイ」
同	「ボードルイ」
戰艦	「スウオーロフ」
同	「アレクサンドル」
同	「ボロヂノ」
同	「アリョール」
同	「コレイヤ」
運送船	「ローランド」(ルスノコトナリ)
曳船	「ベドウイ」
驅逐艦	「ブイヌイ」
同	「エルマーク」(救難船トシテ必要ノ場合ニ最恰適ノ材料ト認メラル)
砕氷船	

第四梯團  
司令長官自ラ之ヲ引率ス

以上ノ如ク全艦隊ヲ四個ノ梯團ニ分チ各獨立司令官ヲシテ引率セシムル筈ナリシモイサ出發トナリ二日ヲ遅延セリ其ノ原因ハ艦隊ノクロンスタッド出發前ニ取殘シタル軍需品ヲリバウニ送

リ越シタルヲ以テ之カ搭載ヲ初メタレハナリ此ノ軍需品ハ何ノ秩序モ分類モ設ケス唯譯モナク港務部ノ門前ヘ荷卸シセシ迄ナレハ之ヲ艦別ニ受取り搭載スルハ固ヨリ混雜ノ業ナリシナリ斯テ正當ニ其ノ宛名先ニ落著キシハ此ノ中ノ一部分ノミニシテ其ノ殘リハ免ニ角艦隊ニ隨伴スル運送船ニ搭載スヘシトノコトナリキリバウ碇泊中ノ天候ハ始終曇リ勝チニテ小雨サヘ時々降來リ又霧ニモ籠メラレタルモ艦内事業ハ各艦トモニ晝夜ノ別ナク至テ繁忙ニ營マレタリサレハ夜中ノ事業ニハ地平線港務部ノ門及ヒ水路等ヲ照ラシ置クノ必要アリ隨テ艦隊カスカル狀況ニ碇泊シアリレヲ以テ又哨艇及ヒ哨艦ヲ派出スルノ必要モ亦之アリ爲メニ天候ノ不良ハ少カラサル困難ヲ來シタリ十月一日各艦トモ軍需品ノ搭載ヲ終ヘ愈々出港準備ニ取掛レリ此ノ日午後首途ヲ祝フ祈禱ヲ行ヒ終リテ各艦ハ歴山第三世軍港(リバウノ隣リ)ノ内港ヨリ外碇地ニ出テ爰ニ出發ニ就キ司令長官ノ信號ヲ待ツコト、定リ各出港ヲ始メケルカ此ノ運動至テ手間取り抄敷カラサルノミナラス夕刻ニ至リ測ラスモ一椿事出來シテ全ク停止スルコト、ナレリ椿事トハ戰艦「シツイ」ウエリキー「カ内港ヨリ港門ニ至ル迄ノ水道ニ於テ左舷碇ヲ海中ニ落シタルコト是ナリ即チ「シツイ」ウエリキー「ハ午後六時四十分浮標ヲ離レ同時曳船ニ舳索ヲ取りタリ(舳ニ二隻艦ニ一隻)斯テ曳カレナカラ港門ニ向ヒ前進シテ微速ヲ有シケルカ此ノ時恰モ先頭ニ出テツ、アリシ「ナヒー」モ「ハ其ノ後ニ砕氷船「エルマーク」ヲ隨ヘ俄ニ機關停止ノ信號ヲ掲揚セリ「シツイ」ノ艦長ハ同艦ノ前進カ門口ノ狭キカ爲メ衝突ヲ來スヘキヲ見テ取り曳船ノ船長ニハ曳索ノ遺放(遺放)シ「ハ木艦ニハ投錨ヲ令シタリ然ルニ同船長等ハ艦長ノ令ニ注意セス曳索ヲ解放セサリシカハ遂ニ此ノ椿事ヲ惹起

シ左舷錨ト之ニ附屬スル「パウケーブル」二十尋ト曳索トヲ併セテ沈没セシメ自餘ノ諸艦ヲ空シク内港ニ抑留セシメタリ沈落セル錨ハ午後十時五分ニ至リ潜水兵之ヲ發見シ尙四十分ノ後鋼索ヲ其ノ「リング」ニ縛著スルヲ得漸ク翌十五日午前一時ニ至リ之ヲ錨架ニ復シ艦内事業ヲ止メタルノ次第ナリ次テ午前七時二十五分ニ至リ首尾ヨク外港ニ出テ水深七尋半ノ處ニ右舷錨ヲ投シ碇泊シ本艦ノ爲メ抑留セラレタル自餘ノ諸艦モ續テ出港シ所屬司令官旗艦ニ近ク碇泊シタリ外錨地ニ碇泊シタル後モ艦内ハ又上ヲ下ヘト事業ニ忙殺サレ諸軍需品ハ山ノ如ク甲板ニ堆積シ未タ夫々ノ倉庫ヘ收メ終ラサレハ此等ノ始末ニ取掛リ幸ニ副長以下艦内整頓ニ經驗アル將校ノ盡力ニヨリ次第ニ片附キ漸ク我カ露國軍艦ノ特徴トシテ誇ルヘキ整頓ノ觀ヲ呈シ來レリ此ノ上ハ衆皆長官旗艦ヲノミ見詰メ次ハ如何ノ信號ヲ揚ルモノカト一心ニ待措ヘルハカリナリ斯卡ル中ニモ或ハ一種ノ悲觀ヲ抱ケルモアリ或ハ唯前途ノ茫々タルヲ觀セルモアリ中ニハ今日迄ノ勞苦ヲ追想シ將來此ノ行ノ無謀ヲ咄ク者サヘアリ左レト斯卡ル豫想ハ幸ニ一モ中ヲサリシ九時二十分第一梯團拔錨出港セヨトノ信號アリ次テ五十五分ヲ經テ第二梯團ニ同様ノ信號アリ是ニ於テ兩梯團ハ夫々旗艦ノ信號下ルト同時ニ拔錨ヲ始メ番號順ニ單縱陣ヲ制リ指定ノ航路ニ上レリ指定ノ航路トハ即チボルンゴリド島ノ北端ニ向フ針路ナリ此ノ時拔錨回頭ノ業ハ是迄ニ充分慣熟シ來リシニモ拘ラス第二梯團ノ如キハ十分時ヲ費シ第一梯團ハ稍是ヨリ早カリシト云フニ過キス此ノ如クシテ司令官ノ譴責ヲ受ケスニ出港シタル軍艦トテハ僅ニ數隻ノミナリキ此ノ譴責トハ長官カ麾下艦船ノ運動ニ付何カ失策ヲ發見シタルトキハ直ニ該艦ニ向ヒ旗艦ヨリ大砲ノ

空包ヲ發射セシムルコトニテ其ノ時コソハ長官ノ機嫌最悪シキ時ナリ次テ第三第四梯團モ跡ヲ追ヒ逐次出港セリ

拔錨出港シテ單縱陣ニ自己ノ位置ヲ取リタル後ハ爰ニ始テ艦内舉テ自由ニ休息シ今日迄ノ心配ト勞苦ト倦怠トヲ忘レ艦隊ノ前途ニ就テハ種々様々ノ批評ヲ逞ウシナカラ長遠征ノ第一歩ヲ始メ或ハ今日ヲ限リナル祖國ノ空ヲ打眺メ將ニ煙霧縹渺ノ間ニ盡キナントスル陸影ニ向ヒ戀シキ家眷ヲ追懷シテ最後ノ接吻ヲ送レル輩モアリ

航海ノ第二日(十六日)ハ稍多忙ノ日ナリ此ノ日ハ日曜ニ當リケレハ祈禱ノ後分隊點檢アリテ總員ハ上甲板ニ排列シタリ斯卡ル際ニモ海上ノ眺メ美シク黄ハメル碧色ヲ呈シアリ其ノ中間モナクボルンゴリド島ヲ南三〇度西ニ發見セリ微風ハ時ニ南西ヨリ時ニ北西ヨリ甲板ニ立テル吾人ノ顔ト手ヲ爽快ニ吹キ太陽ハ中天ニ輝キ浴ク溫和ノ光ヲ吾人ニ沐セシメタリレーウエリリパウ碇泊中ハ始終不快ノ曇天ノミ打續キ雨又ハ霧ヲ帶ヒシ風候トハ打テ換テノ相違ナリサレハ氣早ノ連中ニハ早クモ白服著用ヲト語ルモノアリケルモ是ハ餘リニ贊成ヲ得サリシ何トナレハ我カ

航路ハ尙モ北行スヘケレハリパウヤレーウエリ同様ノ寒サヲ期セサルヘカラサレハナリ兵員ハ彼處此處ト「フオクスル」ニ圍鑾シ無邪氣ニ餘念ナク談話ニ耽リツ、アリ其ノ狀全ク航海ノ前途ニ横ル幾多ノ辛酸ヲ忘レタル者ノ如ク又敵前ニアルト云フノ感念ヲ有セサルモノ、如シ敵前ト云ヘハ今ニモ敵カ我カ艦隊ノ真近ニ潛匿シツカ兼テ深ク謀レル奇計ヲ以テ我ヲ襲撃セントスルニアリテ此ノ事一度ナラス新聞紙上ニ掲ケラレ我カ當局者モ事實ノ真相ヲ知ルニ付少カラ

ス苦心セシ所ナリ倍又兵員共ノ話柄ト云ヘハ互ニ自己ノ郷里ニ於ル生活談アリ現航海ノ前途豫  
 想談アリ甲論乙駁ノ中ニモ談ハ上陸散步ニ涉ラサルモノナク又航海中ノ苦痛ハ上陸後ノ快樂ニ  
 ヨリ償ハルナト、悟リ顔ニ説開カスモノモアリ或ハ今後ハ本國新聞トテハ全ク手ニ入ラス斯ア  
 ハ東洋ニ於ル戰況ハ聞クニ山ナシ外國新聞ハ當ニナラスト嘆クモアリ或者ハ此等ノ話ニ仲間入  
 スルトモセス獨リ淋シ氣ニ「フオクスル」ノ片隅ニ蹲リ何ヲ思ヒ出シテカ急ニ低聲ニテ獨吟スル  
 モアリボルンゴリド島ノ北水道ヲ通過シタル後當日ノ正午位置ハ北緯五五度一八分三〇秒東經  
 一四度三八分三〇秒ヲ得午後一時獨逸岸ニ向ヒ針路ヲ換ヘ速力九七五節トセリ五時八分獨逸ノ  
 アルコナ燈臺ヲ南一七度三〇分東ニ發見シ其ヨリ獨逸岸ト丁抹諸島ノ間ニ針路ヲ向ケ九時四十  
 五分ダルセルヲルト燈臺ヲ正横八浬半ニ見十時三十分ニハ「Godea」燈船ヲ正横ニ見テ進航シ十月  
 十七日午前七時三十分ランゲランド島ノ南端豫定錨地ニ達ヒリ此處ニハ既ニ第四梯團ノ先著シ  
 アリ丁國軍艦三等巡洋艦「ヘシムダル」ハ我カ軍艦旗ヲ揚ケテ二十一發ノ禮砲ヲ放チ「スウオーロフ」  
 亦丁國軍艦旗ヲ前掲ニ揚ケ同數ノ答砲ヲ放テリ同錨地ニハ尙丁國驅逐艦「セウジョルネル」(Söbjörner)  
 ト四隻ノ商船(中二隻ハ丁國二隻ハ獨逸)碇泊シアリ商船ハ何レモ我カ艦隊ヘノ給炭船ナリ次テ七  
 時四十五分第一梯團ノ各艦入港投錨セリ  
 ランゲランド島ハ卑低ノ地帯ヨリ成リ矮草叢生スルモ今ハ早ヤ十月中旬ナレハ秋色充分ニ催セ  
 リ又彼處此處ニ樹木ヲ散見シ人家ハ見エサルモ數基ノ風車カ威勢良ク迴轉セルヲ見レハ人里モ  
 遠カラサルヲ知ル艦隊ハ此ノ島ニ接シ水深一〇尋半底質宜シカラサルノ地點ニ豫定ノ戰策ニ基

キ碇泊シタリ斯テ各艦カ共ノ碇泊位置ヲ取ルヤ直ニ旗艦信號ニヨリ運炭船ハ軍艦ニ横著ケシ是  
 ヨリ石炭搭載ヲ初メタリ然ルニ此ノ日ハ南西力六ノ風アリ爲メニ高ク波濤ヲ起シ運炭船ノ動搖  
 甚シク事業意ノ如ク進捗セス大抵ノ艦ハ本日中ニ所定ノ額ヲ採ル能ハサリレノミナラス或艇ノ  
 如キハ全ク手ヲ著クルコトサヘ爲ス能ハサリキ斯カル遲緩ナル石炭積ハ遂ニ長官ノ不滿ヲ招キ  
 果テハ訓令ノ發布ト爲レリ語簡ナルモ意味莊嚴曰ク「石炭搭載ノ配置ハ軍艦ヲ戰鬪準備ニ整フル  
 最必要ナル職責ノ一ナリ」ト此ノ訓令ハ總員ニ讀聞カサレタリ之ヲ讀ム者誰カ今日ノ光景ヲ願ミ  
 テ將來ヲ戒飭シ再此ノ如キ失態ナカラシムコトヲ期シ今後ノ石炭搭載ニ際シテハ誓テ好成績ヲ得  
 シト奮勵セサルモノアランヤ然レトモ自然ノ狀況ニシテ若シ吾人人類ノ排除シ難キモノナリセ  
 ハ復之ヲ如何トモスル能ハサルナリ此ノ日正午ノ頃獨逸國商艦「ミーム」入港艦隊ノ爲メ生糧品ヲ齎  
 セリキール駐在我カ領事ヨリ寄贈ニ係ル麥酒モ亦此ノ中ニアリ  
 翌日(十月十八日)ハ北風起リ海上ノ空氣寒冷ニシテ昨日來ノ初夜直中夜直ニ立チタル者ニハ暖衣  
 ヲ纏フ程ナリシニモ拘ラス採炭事業ハ至テ好都合ニ進捗セリ此ノ日ハ風向キ全然反對ニ移リケ  
 レハ其ノ力微ナリシモ能ク昨日來ノ長濤ヲ消シ海面鏡ノ如クナレリ木錨地碇泊中殊ニ夕刻ニ及  
 ヒ幾回トナク小汽艇カ群衆ヲ載セ艦隊ノ周圍ニ來レルアリ其ノ中ノ過半ハ新聞通信員ト覺シク  
 艦内ニ入ラサルニ何事カ手帳ニ書キ始メツ、アリ此ノ等ノ輩ハ吾人ニ向ヒ「ウラー」(萬歲)ノ如シテ  
 唱ヘ好意ヲ表セリ又貴婦人ノ一行ヲ載セタル船アリ此ノ一行ハ士官ニ花束ト新聞ヲ手ツカテ贈  
 ルナトセリ新聞ニハ青鉛筆ニテ符ヲ附ケアルモ遺憾ナカラ乗組ノ中ニテ語ヲ解スルモノ一人モ

ナク本艦ニ乗込ミタル水先案内ハ獨逸生ニシテ少シク丁語ヲ語り之ヲ翻譯シタレトモ遂ニ要領ヲ得ル能ハサリキ

吾カ注意深キ善隣國ノ商船ニ對シ石炭及ヒ糧食ノ支拂ヲ了リタル後勿論比較的高價ニ賣附ケラレタリ十月十八日午後二時十五分巡洋艦「アルマーズ」スウェトラーナ「ジエムチウグ」驅逐艦「ブレスチヤ」シチー「ベズウプリヨーチヌイ」「ポードルイ」運送艦「ローランド」碎氷艦「エルマールク」等ハエンクウ井スト少將指揮ノ下ニ海峽哨戒ノ任務ヲ授カリ出港ヲ始メタリ丁抹海峽ヲ通過スルノ戰策ハ此等ノ諸艦ヲ此ノ日ノ中ニシテ燈臺ノ附近ニ達セシメ同燈臺ヨリ南西六尋界ノ位置ニ本夜中碇泊シ隨伴セル驅逐隊ト前記各艦ヨリ端艇ヲ出シ以テ全水道ニ哨戒線ヲ張り夜中ヲ警戒セシメ翌日天明ニ及ンテハ汽船「ローランド」ト碎氷艦「エルマールク」ヲシテマゲドンスキー中佐指揮ノ下ニ水道ノ掃海ヲ爲サシメ支隊ノ各艦ハ直ニ此ノ掃跡ニ入り本隊カ續行スルマテハ我カ艦隊以外如何ナル船艇ト雖モ掃海面ニ入ルコトヲ嚴重ニ豫防シ萬一浮標水雷及ヒ是ニ類スル物品ノ掃海區域内ニ出現スルニ於テハ直ニ撃沈ノ處置ヲ爲スヘント云フニ在リ此ノ如キ戰策ハ實ニ當時之ヲ執ルノ必要アリシナリ何トナレハ此ノ海峽ニハ日本人ノ出沒スルモノアリ我カ艦隊ニ危害ヲ加ヘントノ陰謀一度ナラス新聞紙ニ現レタレハナリ

翌十月十九日午前七時本隊ハ侍從將官海軍中將ロジエストウエンスキーノ指揮ノ下ニ豫定戰策ニ基キ拔錨ヲ始ム此ノ日新鮮ナル中將旗ハ旗艦ノ檣頭ニ懸レリ是ハ十九日ノ夜中ニ取換ヘラレタル由ナルモ別ニ禮砲ヲ放ツニ及ハストノコトナリ七時三十分巡洋艦「アルマーズ」ヨリ無線電信

アリ曰ク掃海隊ハ豫定ノ任務ヲ續行シツ、アリ今マテニ清掃シ得タル區域ハ左ノ如シト

(一)オモ(Omo)ヨリハルスコウオ(Halskovo)

(二)ロムセ島(Romso)ヨリ同名堆ニ至ル五湮間

(三)リワリスポリサツク附近ノチス礁ヨリパーレンノ緯度ニ至ル間

(四)ギンベンヨリグランド燈臺ニ到ル

(五)シユリツエグランドヨリ五湮ノ長サニ互ル水道

ベルト海峽ノ通航中艦隊ハ五「ケーブル」ノ距離ヲ有スル單縱陣ヲ執リタリ其ノ順序ハ一番艦「ドンスコイ」二番運送艦「コレイヤ」三番「スウオーロフ」四番「アレクサンドル」五番「ボロヂ」六番「アリヨール」七番「オスラービヤ」八番「シツイ」九番「ナワリン」十番「ナヒーモフ」十一番運送艦「キータイ」十二番運送艦「アナヅイ」十三番「カムチャツカ」十四番「ゴルチャイ」十五番「アウローラ」ナリ「アウローラ」ニハ後衛ノ任務ヲ授ケラレ若シ怪シキ船舶ノ出現スル場合ニハ直ニ無線電信ニヨリ旗艦ニ報告シ旗艦「オスラービヤ」ヨリハ同艦附ノ驅逐艦ヲ派遣シ臨檢セシムヘキ筈ナリ又驅逐艦ハ旗艦「スウオーロフ」ノ正横ニ附クモノ「ベドウイ」及ヒ「アイヌイ」トシ旗艦「オスラービヤ」ニ附クモノ「ブイヌルイ」及ヒ「ブラーウイ」トス

九時四十五分オモ燈臺ノ附近ニ來リ戰艦アリヨール「舵機ニ故障ヲ生シ列外ニ出テ投錨セリ爾餘ノ諸艦ハ水先案内ノ指導ニヨリ水道ニ入ル勿論此等水先案内ハ航海長監督ノ下ニアルヘキ者ナリ午後二時十五分ニ至リ「アリヨール」ヨリ無線電信ヲ以テ舵機修理整ヒ拔錨スル旨ヲ報シタリ依

テ其ノ距離四十二哩ノ後方ニアルヲ知ル  
艦隊カベルト海峡ヲ通航シタル間ニ見タル燈臺左ノ如シ

オモスプロゴナリスコウオリーフ、デトベン、ヒエリム、ヘサル、キーレン、ウエデル、グノツド、ニ  
デインゲン(左舷正横一哩ニ)ドラゲン、ウエセリ、及ヒスカーゲン、

十月二十日午前八時二十五分スカーゲン燈臺ヲ發見シ九時二十五分ニハ全艦隊ハスカーゲン鼻  
ノ荒渚タル陸岸近ク底質泥水深十尋ニ投錨セリ

リパウヨリスカーゲン村ニ至ル艦隊ノ航海ハ全ク無事ニ遂ケラレ此ノ間司令長官其ノ人ノ身上  
ニハ重大ノ心配アリシニ相違ナキモ先ツ幸ニ艦隊ノ各艦カ些少ノ故障ナク此處迄到達シタルハ  
慶賀ノ至リト云ハサルヘカラス斯クナリテハ我等ノ最負眼ニ各艦カ戰鬥上ノ威容ト嚴格ヲ一層  
加ヘタルカノ如ク見エ來レリ勿論今日ノ如キ我カ國多難ノ秋ニ際シ木艦隊ノ國家ニ對シ如何ニ  
貴重ナルヤハ余カ言ヲ俟タサル所ナリ隨テ毎日日没トナリ航海碇泊ノ別ナク水雷艇防禦配置ノ  
號音アリ

水雷艇防禦配置ノ號音ニテ各艦ニ於テ執ル所ノ處置左ノ如シ

- 一 防火防水器具、コリジョンマツトヲ用意スルコト
- 一 舷窓ノ鐵蓋ヲ鎖シ、ハツチヲ被ヒ航海中ハ區別燈ノ外火光ヲ示サ、ルコト
- 一 距離測定器諸通信機ヲ檢シ用意ノ位置ニ整ヘ傳令員ニ手帳ト鉛筆トヲ持タシメ右配置ニ就  
カシム

一 彈藥庫ノ鍵ヲ掌砲長ニ渡シ、ハンダングルームヲ用意シ夜中照準器諸モートル及ヒ探海燈ヲ  
檢シ用意ノ位置ニ整フルコト

一 三七、ヨリ、四七、ヨリ、七五、ヨリ及ヒ六尹砲ニハ定數ノ彈藥ヲ配シ一二尹砲ハ裝填臺マテ彈丸ヲ  
載セ砲ヲ發射ノ位置ニ據置キ小銃架ノ「カパー」ヲ脱シ或ハ配置ニヨリテハ照尺ヲ指定ノ距離  
ニ調ヘ置クヘシ又信號火箭號火ヲ用意ス

砲ノ用意整頓シタルトキハ砲臺指揮官ハ自ラ或ハ部下ヲ遣シ砲術長ニ報告ス斯テ點檢ノ後  
諸準備宜シキトキハ艦橋ヨリ氣ヲ附ケ「ノ號音アリ」次テ砲員ノ何番殘レ倉庫ヲ鎖セ「號令ア  
リ」後ニ開ケ「號音ニテ指定ノ砲員ハ砲ニ殘リ其ノ餘ハ開散ス

次直員ニハ釣床ヲ許シ自己配置ノ附近ニ於テ眠ラシム

碇泊中ハ前記ノ外防禦網ヲ張ルコト又汽艇ニハ三七、ヨリ砲二門ヲ搭載セシメ之ヲ衛艇ニ出ス  
此ノ如キ有様ニテ夜中ハ何時ニテモ苟モ疑ハシキ船舶ト見レハ航行スルモノト碇泊スルモノト  
ヲ問ハス帆船ト汽船トヲ論セズ其ノ未タ有效距離ニ入ラサルトキヨリ探海燈ヲ以テ之ヲ照ラシ  
一艦ノ照角ニテ利カサルニ至ラハ次艦ニ之ヲ傳ヘ決シテ我カ視界ヲ味マシ隊列ヲ横切ル等ノコ  
トナカラシメ此ノ間四七、ヨリ速射砲ニ配セラレタル哨兵ハ其ノ尾栓ヲ開キナカラ絶エス該船舶  
ヲ照準シタリ日中ハ驅逐隊哨戒ノ任務ヲ執リ又他船舶ニ遭遇スルトキハ之ヲ臨檢シ其ノ國籍、船  
名及ヒ他ノ怪シキ船舶ヲ何ノ方位ニ認メサリシヤ等ノコトヲ訊問スルヲ例トセリ此ノ如クニ  
シテ十月十六日ノコトナリキ同日午前八時二十五分驅逐艦「ブイスツルイ」ハ例ニ據リ臨檢シ果シ



其ノ結果ヲ司令官ニ報告セントテ歸リ來リケルカ旗艦(オスラービーヤ)ノ回轉圈ヲ誤算シタルモノト見エ遂ニ左舷ヲ以テ之ニ衝突シ第三十五番「リブ」ノ附近石炭庫水線上「Water」大ノ孔ヲ穿テ前部射發管ヲ二吋曲ケ前「フョール」ヲ折リタリ此ノ日天氣平穩ナリケレハ司令官ハ直ニ燒艇ニテ「ブイス」ツルイニ乗移ラレ自ラ損所ヲ點檢シ艦内材料ヲ以テ假修理ヲ施サシメ共ノ危險ナキヲ認メテ之ニ續行ヲ命シ戰隊ハ九時五十七分ニ至リ元ノ針路ニ上レリ

海軍省ニテハ第二艦隊ヲ婆羅的海ノ境界ヨリ安全ニ送り出サント配慮シ數隻ノ私船ヲ備入レ此等ヲシテ艦隊豫定航路ニ當ル附近ノ沿岸ヲ偵察シ航行ノ船舶ヲ追跡セシメタリ尤共ノ中ニハ救難材料ヲ搭載シ直ニ赴難シ得ルカ如キ近距離ニ於テ艦隊ニ從行セシモアリ丁國政府モ自己領域ノ安全ヲ保證スル爲メ大「ベルド」中最危險ト思ハル、地點ニ砲艦一隻ト驅逐艦二隻ヲ派遣シ警戒セシメタリ

スカーゲン村ノ沖碇泊後ハ艦隊ハ積炭ヲ始メ一部ハ附屬運送船ヨリ一部ハランゲランドヨリ來レル商船ヨリ搭載スルコト、ナレリ此ノ間天候至テ良好ニ大氣ノ溫度モ列氏一〇度ニテ暑カラス寒カラス又微風北ヨリ西ノ方ニ互リ時々二ノ力ニテ吹キ來ルナトアリ實ニ無上ノ好天氣ナリキサレハ當日ノ石炭積ハ近來比類ナキ好成绩ヲ得タリ(四時間ノ後二二五噸)是ハ運炭船カ動搖セサルニ起因スト雖モ抑又士氣漸ク旺盛ニ向ヒ前日來ノ憂苦ヲ擺脫セント務メタルモノニ外ナラス尙前途ヲ慮リ袋詰トシ或ハ共ノ儘甲板上ニ堆積スル迄ニ至レリ是等ハ炭庫ノ消費ニ應シ次第ニ之ヲ庫内ニ積換フヘキ筈ニテ甲板上ハ矢張軍艦風ニ清潔ヲ維持スヘキ筈ナリ

毎日日沒迄艦隊ノ附近ニ丁國國旗ヲ掲ケタル帆船幾隻トナク來リ中ニハ「ベンジン」モートルヲ有スルニモ拘ラス帆走スルモアリ共ノ運轉狀ヨリ察スルトキハ恰モ我カ艦隊ノ狀態ヲ偵察シ如何ナル事業ヲ營ミツ、アルヤヲ探究セントスルモノ、如ク見エケルカ日沒スルヤ共ノ數特ニ減少シ艦隊ヨリ著シキ距離ニ遠サカリ自己ノ行動ニヨリ我カ司令長官ノ激怒ヲ招カサラン様心掛ケ居ルモノ、如シ左ノ一例ハ以テ司令長官カ事ノ全艦隊ノ利害ニ關スルト認ムルトキハ如何ニ峻嚴ノ處置ヲ執ルノ人ナルカヲ窺フニ足ル

最早碎氷船「エルマーク」ヲ艦隊ニ伴フノ必要ナク就テハ同船ニ本國歸航ヲ命スヘシトテ旗艦ヨリ「船長來艦スヘシ」ノ信號ヲ掲揚シ各艦ハ悉ク之ヲ受繼ケリ然ルニ受信艦「エルマーク」ハ應信ヲ爲ストモセサリキ何故「エルマーク」カ斯モ應信ヲ怠リシヤハ吾人之ヲ解スルニ苦メリ信號法ヲ了解セサルカ共トモ怠慢ニヨルモノカ恐ラクハ信號法ヲモ解セサル上ニ又怠慢ノ點モアルヘシ艦隊第二ノ信號ハ揚レリ然レトモ彼是ニモ應セサリキ共ノ中旗艦ヨリ「エルマーク」ニ向ヒ大砲ヲ發射シ彈丸同船ノ附近ニ墜落スルモノ多カリキ吾人ハ事ノ成行如何ニ終ルヘキヤト氣遣ヒタルニ同船長ノ旗艦ニ來リタルト共ニ打方ヲ止メ信號ヲモ撤去セラレタリ

午後長官幕僚ヨリ第三十一號ノ情報ヲ配附セリ曰ク情報ニヨレハ敵ノ船艦ハ諾威ノスカチエラーク港ニ潛伏シアリテ將ニ出港セントスルノ徵アリ

是ニ於テ太平洋第二艦隊ハ直ニ石炭ノ搭載ヲ停止シ艦隊ノ編成ヲ改メ拔錨ヲ始メタリ第一ニ出港シタルハ午後三時第一驅逐隊ニシテ「シャール」中佐ノ指揮ニ係ル驅逐艦「ブレスチャール」

「ベツウブリヨーチヌイ」ボードルイ及ヒ母艦「コレイヤ」ト第二驅逐隊司令バラノフ中佐ノ指揮ニ係ル驅逐艦「ベドゥイ」「アイヌイ」「アイスツルイ」及ヒ母艦「キータイ」トス四時二十五分先任艦長シエーン大佐ノ下ニアル第二巡洋艦隊ノ軍艦「スウエトラーナ」「アルマーズ」及ヒ「ジエムチウク」抜錨シ五時エンクウ井スト少將ノ率井ル第一巡洋艦隊ノ各艦「ドミトリ」「ドンスコイ」「アウローラ」及ヒ運送船「カムチャーツカ」出港シタリ然ルニ此ノ第一巡洋艦隊ノ出港後三十分ヲ經テ旗艦「スウオーロフ」ヨリ無線電信ニテ左ノ信號ヲ送レリ

附近ニ燈火ヲ點セサル四隻ノ水雷艇現ル警戒ヲ加フ可シ

暫時ニシテ本艦ヨリ南五〇度西ノ方位ニ當リ二個ノ輕氣球飛揚内一ハ大ニシテ他ヨリ高シ徐々ニ海岸線ニ沿ヒスカイゲン燈臺ニ向ヒ遂ニ夜陰ノ裡ニ隱レタリ午後七時十五分フエリケルザムノ率井ル第二戰隊ノ軍艦「オスラービヤ」「シツイ」「ウエリーキー」「ナワリン」「チヒーモフ」運送船「メテオル」「マライヤ」等拔錨ヲ始メ之ニ次キ第一戰隊ノ各艦及ヒ運送船「ゴルチャイゴフ」「アナヅイリ」及ヒ「ローランド」出港ノ筈ナリキ

第二戰隊ノ出港シタル後ハ距離二鏈ノ單縱陣ヲ制リ初メハ北ニ向ヒ燈船ヲカハリタル後ハ丁國ノ沿岸ニ沿ヒ西方ノ針路ニ就ケリ此ノ夜天氣晴朗月明ニ海面鏡ノ如ク水雷艇襲撃ナトハ行ハルヘクモアラズ勿論警戒ハ充分ニ嚴ニシ錨ヲ拔キタルト同時ニ防禦配置ニ就カシメタリ抑此ノ海峽附近ニ疑ハシキ船艇ノ出沒スル所以ニ關シ此等船艇ノ任務ト云フハ單ニ我カ艦隊ノ所在ト行動ヲ偵察シ刻々ニ之ヲ明ニスルニ止ラス機會タニアラハ我ニ危害ヲ加ヘ以テ多少ニ拘ラス東航

ヲ遲滞セシムルカ或ハ戰鬪單位タル軍艦ノ幾隻ヲ戰列以外ニ排セシメントスルニ外ナラス是敵ノ最執ラント欲スル策ニシテ整々ノ旗堂々ノ陣ヲ整ヘ以テ我ニ對ハンニハ其ノ自信ニ於テ缺クルモノアリ由來暗中ヨリ起テ人ノ不意ニ乘スルハ彼ノ慣用手段トスル所ナリ此ノ如クナルヲ以テ我モ亦哨戒勤務ニハ一層細大トナク豫防ノ爲ニハ有ラユル手段ヲ執ルコト、ナレリ總テ當直勤務ニ立テルモノハ地平線ヲ凝視シ一物ヲ見ノカサ、ル様島メツ、アリ此ノ夜艦内極テ靜肅唯單調ナル暗車ノ回轉カ此ノ靜謐ヲ破ルノミナリ月ハ地平線ヨリ次第二中天ニ上リ隈ナク海面ヲ照ラシ銀波碎クルノ光景ヲ呈セリ十月二十一日午前一時十分本戰隊針路ノ陸岸側南五〇度東ノ方位ニ當リ地平線上何物カ小ナル紅一點ヲ視ル之大ニ吾人ノ注意ヲ惹キ其ノ判斷種々様々ナリ此ノ紅一點ハ時ニ黒色トナリ實ニ幻玄不思議ノ態ニ見ユ須臾ニシテ又火災ノ天映ノ如ク瀾曇セリヤカテ一陣ノ微風起ルヤ濃霧ヲ誘ヒ午前二時ニハ前續艦モ後續艦モ辨明スル能ハサルニ至リ濃霧ハ時ニ薄クナリ漸ク僚艦ノ形體ヲ暗中ニ探ル程ナリモ終ニ又一層濃密トナレリ是ニ於テ霧中信號ヲ行ヒ旗艦ヨリ順次ニ汽笛ヲ鳴ラシ始メタリ司令官ハ麾下ノ相失センコトヲ憂ヒ速力ヲ減シテ七節トナシ相失シタル場合ノ集合點ヲ英國南岸ノ「Cape Sables」ダンガ子スト定メ尙左ノ信號ヲナセリ

五時マテハ此ノ針路ヲ守ルヘシ五時以後ハ南三五度西速力一〇節トナスヘシ

曉ニ及ンテ霧霽レ渡リケレハ曩ノ信號ニヨラス午前八時ニ針路ヲ南三四度西ニ變シタリ此ノ時艦位ハ推測ニテ北緯五七度二三分三〇秒東經八度一〇分ナリ十一時四十五分「ドンスコイ」ヨリ長

官旗艦へノ無線電信ニ昨夜霧中ニ「カムチャーツカ」ト相失ヒ又第二戦隊ノ運送艦「マライヤ」ハ後方ニ後レタリトアリ

正午天淵ノ本隊位置ハ北緯五六度四九分東經七度二六分ナリ  
夕刻ニ至リ天候變リ微風南西其ノ力二ヨリ南南東其ノ力四ノ間ニテ吹來リ海面モ亦浪穩ナラス  
氣中又濃氣アリ展望宜シカラス數艦ノ距離ニテ漸ク他船ヲ認識シ得ル程ナリ五時十三分水雷艇  
防禦ノ配置ニ就キ艦内ノ生活總テ例ニ據レリ八時ヲ打チテ總員ノ釣床ヲ下シタレハ中ニハ日中  
ノ事業ト操練ニ疲レ直ニ就眠スルモアリ或ハ「フオクスル」ニ團欒談話ニ餘念ナキモアリ士官室ニ  
テモ今シモ當直ヲ下リタル士官等ノ晩食ヲナスモアリ或ハ唯何トナク居合セルモアリ談話ハ其  
カラ共ヘト湧キ國家ノ内外政策ニ論及スルモノアレハ學校時代ノ過去ヲ語ルモアリ「ピア」ニ「ラ  
發スルアレバ」ドミ「ヲ算スルモアリ斯カル平和ノ際忽然トシテ八時四十五分運送艦「カムチャ  
ツカ」カ長官旗艦ヲ呼ビ無線電信ヲ傳フルアリ

#### 驅逐艦(複數)我カ隊ヲ追跡シツ、アリ

此ノ報ハ恰モ瞬時ニ電流ノ速度ヲ以テ艦内ニ傳リ上下ヲ震駭セシメタリ是何レモ我カ艦隊ノ航  
行序列カ左回ノ如ク驅逐隊ハ著シク我カ位置ノ前方ニ在ルヲ知悉シタレハ我カ後方ニ驅逐艦ヲ  
見ルヘキ理由ナシト信シタルニヨルモノトス又味方驅逐艦ノ後レタルモノアリトスルモ是ナレ  
ハ我カ規約信號ニヨリ證明サルヘキ管然ルニ「カムチャーツカ」ノ無線電信ハ之ニ及サストスレハ  
我カ附近ニ四隻ノ燈火ヲ滅セル怪シムヘキ船艇アルモノト此ノ報告ヲ解釋セサルヘカラス是ニ

於テ衆皆今ハ恐怖ノ念ヲ去テ活氣ヲ呈シ釣床ニ眠レル者モ驟然トシテ起チ上甲板ヘト駭付ケタ  
リ忽チ水雷艇防禦ノ號音響キ渡リ各員ハ神色自若少シモ周章スル所ナク各自ノ配置ニ就キ兼テ  
熟知ノ任務ヲ遂ケタリ但大砲ハ裝填セルモ未タ尾栓ヲ鎖サス上甲板ニ立テル者ニハアラン限リ  
ノ雙眼鏡ト望遠鏡ヲ交附シ限ナク地平線ヲ凝視シ苟モ船ト見レハ遠距離ヨリ探照燈ヲ向ケ中ニ  
ハ效果ノ利カサル向モアリタリ初ノ信號ヨリ一時間ヲ經テ第二ノ信號

#### 四周ヨリ攻撃ヲ受ク

ト傳ハリ乃チ十時十分「カムチャーツカ」ハ總テノ燈火ヲ滅シ刻々ニ針路ヲ變ヘ進ミツ、アル間ニ  
或時ニハ艦ヨリ約二鍵ノ距離ニ於テ八隻ノ水雷艇ニ尾ケラレ既ニ危害ヲ加ヘタルモノスラアル  
事實分明セリ之ニ對スル長官ノ應信ニ「カムチャーツカ」ハ西ノ針路ヲ取ルヘシトアリ是幾分カ同  
船ノ運用ヲ容易クナシ得ヘシト思ヒタレハナリ此ノ後尙海面上ニ於テ其ノ船ノ位置ヲ示セナト  
アリシモ「カムチャーツカ」ノ應信ハ否認的ノモノナリシ是同船ハ再水雷艇ノ爲メ發見サル、ヲ恐  
レタルニヨル「カムチャーツカ」ノ此ノ應信ニヨリ察スルトキハ同船ハ既ニ暗夜ノ爲メ攻撃ヲ免レ  
タルカ將タ敵カ危害ヲ加フルノ機會ヲ逸シ其ノ計畫ヲ放棄シタルモノカ兎ニ角危難ヲ免レタル  
モノ、如シ「カムチャーツカ」ヨリノ信號總テ普通信號ナリシヲ以テ之ヲ受クル毎ニ總員ニ分明シ  
各員ハ倍々奮勵シ敢テ大膽ニモ我カ艦隊ニ危害ヲ加ヘントスル敵ヲ膺懲セント意氣軒昂セサルハ  
無シ然レトモ細心ナル注意ハ少シモ渝ル所ナカリシモ別段之ヲ實地ニ現スノ機モ無ク十一時三  
十分ニ到リ戰鬪配置ヲ撤シ各自其ノ位置ヲ離レ先ツ各艦一モ戰列ヨリ離ル、ノ不幸無カリシヲ

慶賀セリ正子ノ艦位ハ北緯五五度一〇分東經五度三一分ナリ  
 十月二十二日午前〇時二十分本艦「ソイウエリーキ」ハ舵機ノ導杆接続部ノ「キー」脱シタル爲メ  
 列外ニ出テタリ司令官ハ爲ニ戰隊ノ速力ヲ微速トシ本艦ニ修理ノ便宜ヲ與ヘラレケレハ四十五  
 分ニ到リ修理整ヒ舊位ニ復シ戰隊ハ舊ニ依リ針路ヲ續ケタリ斯カル偶然ノ出來事ハ後レ勝ナル  
 運送船「マライヤ」ヲ本戰隊ニ合スルノ機會ヲ與ヘタリ同船ハ本戰隊ニ伴ヒ常ニ「セマホア」ノ信號界  
 ニ在ランニハ餘程ノ苦痛ヲ感セシナリ此ノ本戰隊針路ヨリ左四點乃至五點ニ當リ忽然トシテ連  
 續三發ノ信號火箭ヲ見タリ斯カル信號ハ此ノ附近日耳曼海ノ水路誌ノ告示ニ何等適合セサル所  
 ナレハ如何ニト訝ル中我カ戰隊ノ正横後二點半三五乃至四〇鐘ニ於テ航行スル第一戰隊ヨリ探  
 照燈ヲ點シ針路ノ左ヲ照セリ此ノ中數隻ノ船影現レ長官旗艦ハ直ニ火箭ヲ飛揚セシメテ砲火ヲ  
 開ケト合シ〇時五十分旗艦先ツ自ラ手當リノ船隻ニ向ヒ砲火ヲ開キタレハ自餘ノ諸艦モ之ニ倣  
 ヒタリ本艦ニテモ戰鬪號音ヲ奏シ急ニ復戰鬪配置ニ就カシメタリ此ノ以後ハ艦内至テ靜肅何レ  
 モ息ヲ凝ラシテ成行ク様ヲ見詰メ事實真相ヲ發見セント逸レリ第一戰隊ノ照ラセル照界ヲ視レ  
 ハ果シテ低舷ニシテ二或ハ三ノ煙突ヲ有スル船影現レ其ノ數ヨリ推ストキハ軍艦トモ思ハレサ  
 ルモ一見レテ漁船トハ慥ニ推セラル、點アリ衆説ハ汽船ノ舷側ニ水雷艇ノ隠レ居ルヲ見タリト  
 主張シ或ハ全ク漁船ニシテ漁撈セル魚ヲ市場ニ運ヒシモノナリト云フモアリ兎ニ角其ノ遠距離  
 ニアルト船型ノ明瞭ナラサル爲メ誰トテ正確ノ判斷ヲ下シ得ルモノアラス然レトモ何レノ砲員  
 モ四鐘ヨリ始マリ種々ノ距離ニ在リテ左右ニ運動スル約二十隻ノ艦艇ニ向ヒ各自ノ砲ヲ照準シ

ツ、アリ又探照燈ハ斷ニス此等ヲ附狙ヒケレハ之カ爲メカ戰隊ノ軍艦ヲ損傷セントノ敵人ノ企  
 畫ハ成功セサリシモノ、如シ若シ是ニテ成功シタリトスレハ其コソ我ニ取リテハ由々敷損失ナ  
 リシナリ斯カル時コソ衆皆勇躍其ノ本分ヲ盡サント逸レトモ遺憾ナカラ四周ノ暗黒ナル爲メ術  
 ノ施スヘキ無ク空シク活劇ノ如何ニ終局スヘキヤヲ坐視スルノ外ナカリキ艦ヲ旗艦ノ初一發ヨ  
 リ十七分ヲ經過シ旗艦ノ探照燈ヲ下ニ向ケ規約信號各艦ハ打方ヲ止メ針路ヲ續行セリ  
 午前一時十分「カムチヤーツカ」ハ長官旗艦ヲ呼ヒテ左ノ無線電信ヲナセリ

我カ後方ニ二隻ノ水雷艇見ユ味方艇ナルヤ他艇ナルヤ判然セサルモ規約信號ヲ解セス  
 ト次テ二十五分ヲ經テ同船ハ戰隊ノ後方三三哩ニアルコトヲ確メ同時戰鬪配置ヲ解キタリ一時  
 五十四分エンクウ非スト艦隊ノ「アウローラ」ヨリ無線電信アリ同艦ハ日没ノ時戰艦隊ノ前方ニア  
 リシ者ナリ

本艦ハ水線上ニ四個ノ彈孔ヲ蒙リ砲員一名僧官一名負傷セリ後者ノ容體危篤ナリ  
 ト報シ次テ一時間ノ後同艦ハ第一戰隊ノ砲撃ニヨリ被リタル損害ヲ詳報セリ是ニ由テ見ルトキ  
 ハ「アウローラ」ニハ七五密砲彈三發其ノ中一發破裂四七「ミ」砲彈二發命中シ此ノ四七密砲ノ一發  
 ハ僧官室ヲ打貫キ居合セタル僧官ノ手ヲ打貫キ室内ニハ火災ヲ起シシメタルモノナリ上甲板  
 ニハ六尹砲彈ノ碎片アリ又煙突ヲ貫カレ共ノ他水線上舷側ニ三箇所機關室「スカイライト」ニ二  
 箇所ノ彈孔ヲ穿タレ掌砲兵一名負傷シタリ然レトモ此等損害ハ著シキモノニアラス艦内材料  
 ト兵員ノ手ニテ修理ノ見込立チタレハ途中態々寄港ノ必要ナク航行中ニアリテ修理ニ取掛リ

マリ僧官ノ傷ハ至テ重大ニシテ一命危シトナリ勿論艦内ノ治療器械ハ出師準備ニテ遺憾ナク供給シアリシモ少シモ患者ノ苦痛ヲ減スルニ足ラス是ニ於テ艦長ヨリ司令官ヲ經テ最近ノ港ニ寄港シ負傷者ヲ陸上病院ニ交附セントコトヲ願ヒ出テタルモ遂ニ長官ノ許可ヲ得ス無線電信ニテ左ノ意ヲ通セラレタリ曰ク患者ノ容體カ如何ニ經過スルトモ此ノ際アウローラカ途中ノ或港ニ寄リ負傷者ヲ陸揚ケスル如キハ斷シテ不可ナリ若シ經過良好ナラスレハ最早夫迄ナリ天意ニ從ハンノミト夫長官ノ應信ハ明ニ軍艦カ途中寄航スルト云フ事實ノ關係スル所重大ナルヲ證シテ餘リアリ衆亦之ヲ是認シ只管天命ヲ待ツコトニ決シ爾來復負傷僧官ノコトヲ語ルモノ無カリキ

此日終日曇天ニシテ展望宜シカラス小雨モ時々至リ天測ヲ爲スコトヲ得ス命ニヨリ信號兵ヲ檣樓ニ配シ四邊ノ漂流物ニ注視セシメタリ此ノ附近漂流物ノ數甚タ多ク箱アリ籠アリ板アリ樽モアリ夕ニ及ンテ雨歇ミ展望モ稍良好ニ向ヒ數埋隔テ、漁船ト汽船トヲ判斷シ得ルニ至レリ英吉利海峡ニ入りテヨリノ推測ニ自然ノ狀況即チ針路ヨリ艦ヲ流レシムル潮流風壓ト陸岸ヲ見サルコト一晝夜ノ間一回ノ天測ヲ爲サ、リシコト及ヒ度々漁船ヲ避ケタルコト(之ヲ避ケサルハ國際法違反ナリ)等ヲ算入シテ考フルトキハ眞ノ艦位甚タ疑ハシクナリ海圖上ニ點セラレタルニ不安ヲ抱クニ至レリ是ニ於テ司令官ハ日没ニ先タチ每十五分ニ深海測鉛線ヲ投シテ水深底質ヲ探リ海圖上ノ位置ト對照スルコトヲ命シタリ此ノ如クニシテ午後八時ノ推測位置北緯五二度二〇分東經二度三六分ヲ得針路ヲ西ニ變シ英國海岸ニ寄セタリ斯テ何物カ地物ヲ見タル上共ヨリ再針

路ヲ定ムヘントノコトナリ九時半ウエストポイントノ燈臺ヲ北七三度西ニ發見シ同五十分針路ヲ南トセリ

十月二十三日午前九時 Dungeness 角ヲ正横一七浬一ニ見テ通過セリ此ノ地點ハ霧ニ濃霧ニ會シタルトキ相失シタル場合ヲ豫定シ集合地ニ選定サレタル所ナリ午後司令官ヨリ戰隊ノ各艦ハ運送船マライヤヨリ大艇ヲ卸シ積炭スヘキノ命令アリ又マライヤニハ炭庫ヲ開キ袋詰ノ準備ヲナスヘントアリ次テ午後一時二〇分戰隊ハフライトン市ノ北西十五尋界ニ投錨シ(北緯五〇度四二分三〇秒西經〇度四五分直ニ運送船ヨリ採炭ニ取掛リタリ同船ハ戰隊ノ各艦ニ厚薄ナク一様ニ行渡ルヘキ様ノ周旋ヲナシタルカ上此ノ日ノ天候ハ曇天ナリシモ風無ク海上至テ平穩大氣ノ溫度モ適良ニシテ事業ハ好都合ニ行レタリ三時ニ第一隊ハ此處ヲ通過セシカ遙沖合ヲ航セリ四時長官旗艦ヨリノ無線電信夜ニ入り英國岸ニ接近スヘカラストアリ八時三十分採炭ヲ終ヘ拔錨英吉利海峡ヲ通過スル爲メ西ノ針路ニ上リ Vol. Needles 等ノ燈臺ヲカハレリ

十月二十四日午前五時 Chables 燈臺ヨリ北三度東ニ於テ針路ヲ南四四度西トシ佛蘭西岸ニ接シ七時四十分英國岸ヲ視界ニ失ヘリ此ノ日ノ航海ハ良好ニシテ時ニ雲煙散シ太陽見ユ天測ヲ爲スコトヲ得タリ(正午ノ艦位北緯四十九度三一分三〇秒西經三度三九分)午後五時三五分佛蘭西岸ニ於テプレトス市ニ近キ Verse 燈臺ヲ南一八度西ニ發見シ次テ針路ヲ少シク西ニ Ouisant 燈臺ヲ發見セリ本燈臺ハプレトスト同緯度ニ於ル一小島ニ建設サレ光力鮮明且燈影ハ遠距離ヨリ見ルモ頗ル大ナリ九時此ノ燈臺ヲカハリ針路南二九度西ト定メビスケー灣ニ入レリビスケー灣ニ入り

テヨリハ天候急變シ濕潤ニシテ寒ク時々霧ヲ起シ南東ノ長浪アルモ白沫ヲ起サス但舷側ヲ打テ  
 ハ水沫ヲ飛ハス計リニナリテ時々艦ノ傾斜一五度ニ達セルコトモアリ航行中時々無線電信ニテ  
 運送船コレイヤヲ呼ヒタルモ應信ナカリシ同船ハシエルブールニ入ル爲メ岸ニ接シテ航行セル  
 驅逐艦ニ同伴セルモノナリ第一戰隊トハ二十五日ノ夕刻ニハ距離既ニ遠隔ニ過キ稀ニ無線電信  
 ニ感スルコトアルモ了解シ難クナリコレイヤニ對シテノミ通信ヲ維持シタルカ午後五時三十分  
 一行ハシエルブールニ入り歡迎ヲ受ケ萬事好都合ニ運ヘル旨ヲ通信セリ二十六日午前五時一〇  
 分再コレイヤヲ呼ヒ司令官ハ戰況ニ關シ新聞ナキヤヲ尋ネヲレタルニ同船ハ之ニ對ヘテ十月十  
 七日激戰アリ我カ軍ハ日本軍ノ爲メ奪ハレタル砲十四門ヲ回復セリト黒鳩禽ノ公報ナリ彼我ノ  
 損傷甚タ大ナリ旅順口ハ砲撃ヲ受ケツ、アリト答電セリ  
 此ノ電報ハ幾分カ艦員ノ元氣ヲ鼓舞シテ航海ノ苦ヲ慰ムルニ足リ延テ各人ヲシテ今ヤ機運ノ回  
 復ニ向ヒ現戰役モ露國ノ幸福ニ終局ヲ見ルヘク其ノ結果海軍擴張ノ行ハル、ト身ヲ君國ニ捧ケ  
 シ海軍軍人ニ軍事上ノ智識ヲ與フルトノ時機必ス到來スヘシト信セシメタリ  
 午前七時天氣晴朗一天拭フカ如シ左舷艦首ノ南方ニ西班牙ノ陸岸ヲ見ル山頂ニハ濃霧アリ如何  
 ナル精巧ノ雙眼鏡モ千里鏡モ何レノ地點ナルヤ之ヲ甄別シ難ク依テ其ノ頂點ノ現ル、迄針路ヲ  
 南方ニ或ハ西方ニ換ヘテ躊躇セリ岸ニ沿ヒ驅逐隊ヲ伴ヒ西航スル運送船コレイヤヲ見ル十時四  
 十分天測ノ艦位ヲ得戰隊ハ針路ヲ南ニ定メタリ午後三時曩ニ二十一日夜ノ椿事ニ際シ裝填セル  
 十二尹砲彈ヲ抜ク爲メ之ヲ發射シタリ

南ノ針路ヲ執リ九節半乃至十節ノ速力ヲ以テ歐羅巴大陸ノ西岸ニ沿ヒ航行シタルカ此ノ邊一帯  
 陸上ノ光景刻々ニ遷リ換リ宛然走馬燈ヲ見ルカ如シ濱邊ニ散在セル茅屋懸崖ノ中腹ニ建テタル  
 別荘翠色滴ラントスル丘陵カ煙霧ニ罩メラレタル様ナト歴然トシテ掌ニ取ルカ如ク吾人ノ眼眸  
 ニ映シ來レリ日課操練ヲ終リタル後ハ艦員上下舉テ甲板ニ集ヒ談話ハ例ニ依テ例ノ如ク或ハ舊  
 キ新聞ヲ取出シ餘念ナク挿繪ヲ眺ムルモアリ微風時ニ到リテ漲ル煤煙ヲ艦外ニ拂ヒ雲間ヲ洩ル  
 ル太陽ノ光ハ穩ニ陸上ヲ照ラシテ一層ノ光彩ヲ添ヘタリ  
 十月二十七日午後二時四十五分 *Burling* 島ノ沖五哩七一ヲ通過シ七時十分 *Dogs* 角ヲ三哩ニカハリ  
 タル後濃霧ニ遭遇シ速力ヲ七節半ニ減セリ二十八日ノ午前ニ入り霧霽レ渡リ曉ニ及ンテセント  
 ヴィンセント燈臺ノ陸岸ヲ認メケレハ是ニ向ケ午前六時二十分是ヲカハリ亞弗利加大陸ニ選定  
 ノ集合點タンジョールニ向ケ針路ヲ南六七度東ニ定メタリ此ノ日朝マタキヨリ一天雲ナク昇ル朝  
 日ニツレ赫々タル東天ノ色ハ明ニ炎熱ヲ豫告シ茫々タル蒼海波平ニシテ鏡ノ如ク唯時々微風ノ  
 之ヲ誘ヒ燥灼タル日光ト相映シテ銀波碎クルカ如キ一種ノ壯觀ハ實ニ吾人ノ眼眸ニハ飽カヌ眺  
 ナリ午後二時ト覺シキ頃當直ハ東北東ニ當リ煤煙ヲ視タリ之ヲ察スルニ數隻ノ艦船カ一定ノ排  
 列ニ在テ航行スルモノト思ハレ一見直ニ之ヲ我カ艦隊ト判斷セリ然ルニ二十分ヲ經テ橋桁ヲ區  
 別スルニ至リ多數ノ軍艦カ二列縱陣ニ排列シ我ニ反航シ來ルヲ知り次テ數分ノ後英國旗ヲ繰セ  
 ルヲ見タリ

本戰隊推測位置北緯三〇度三〇分西經七度四七分ノ正横ニ當リ英國艦隊ヲ見ルニ其ノ右翼列先

頭艦ハ裝甲巡洋艦、モンマウスニシテ將旗ヲ掲ク其ノ後方ハ單縱陣ニテ二等巡洋艦「ハームス」ヴ非  
 ーナス之ニ從ヒ左翼列ノ先頭艦ハ裝甲巡洋艦「セント」及ヒ一等巡洋艦「エドガー」ナルヲ知レリ  
 互ニ正横ニ見テ航過スルトキ十三發ノ禮砲ヲ交換シケルカ頓テ旗艦「モンマウス」ニ方旗二旗ノ信  
 號ヲ掲ケタリ其ノ旗ノ色合ハ我カHPニ酷似セリ是ニハ巡洋艦「ヴ非ーナス」黃色ノ一旗ヲ舉ケテ  
 應信シ信號ノ終ルト見ル中「ヴ非ーナス」ハ少シク左轉シ數秒ノ後右舷ニ回轉ヲ初メタリ斯テ全ク  
 回轉シ我カ針路ニ平行シ約五五鐘ニ在リテ航行セリ同艦ノ其ノ本隊ヲ離レタル後モ本隊ハ依然  
 舊ノ排列ヲ維持シテ航行セルモノ、如ク尙旗艦ヨリハ同艦ニ向ケ信號ヲナシツ、アリ此ノ信號  
 ハ遠距離ノ爲メ認ムルコト能ハサリシモ「ヴ非ーナス」ノ應旗ヲ掲クルヲ見レハ何等カ意味ヲ有ス  
 ルモノニ相違ナシ此ノ信號ノ後「ヴ非ーナス」ハ我カ正横ヨリ徐々ニ遠サカリ次第ニ急駛シテ五分  
 ノ後ハ遂ニ全ク相見ル能ハサリキ

午後四時タシシル迄此ノ針路ニ於テ尙百漣ヲ航セサルヘカラス故ニ前日來九節乃至九節半ノ  
 速力ヲ以テ航行スルニ於テハ夜中ニ入港ノ管トナル是ニ於テ司令官ハ夜中不案内ノ港灣ニ入ル  
 ヲ避ケ速力ヲ五―六節ニ減シ早朝入港ノコトニ決セラレタリ午後六時操練事業ヲ終リタル後ハ  
 兵員皆例ニ依リ前甲板ニ集レリ日中ノ炎暑ニ疲レシニヤ倦怠ノ容アリシカ頓テ熱氣モ散シ晚涼  
 ニ向ヒケレハ宛ヲ浴後ノ納涼トモ覺シク爽快極リナシ太陽ハ地平線ニ近ク晚霞ノ空ヲ透シテ今  
 シモ眠ラントスル海面ニ光輝ヲ浴セヤカテ没シタル後西天ノ紅色尙消エサルニ東ニハ早ヤ星ノ  
 一ツ二ツ閃グアリ天地ノ光景轉幽靜ナリ戰隊ノ軍艦モ至テ徐々ニ海面ヲ破リ波サヘ高ク打揚

ケス唯規則正シキ暗車ノ回轉カ時計ノ「チク、タク」ト共ニ絶間ナク刻ムノミナリ此ノ如キ佳夕ハ眞  
 ニリバウ出發以來初メテナリ夕食後ハ思ヒ思ヒニ甲板ヲ散歩シ談笑スルモアレハ小聲ニテ俗  
 歌ヲ歌フモアリ當直士官ノ耳ニ入ラサル場所ニハ手風琴ノ音サヘ幽ニ漏ル、モアリ「スパ―デッ  
 キ」ノ小蔭ニ電燈ノ光漏レケルカ此處ニ二人ノ水兵佇ミ頻ニ些カナル紙片ヲ讀ミツ、アリ恐ラク  
 ハ遠キ故郷ニ在ル妻子ヨリノ舊キ手紙ヲ繰返スナルヘシ其ノ中酒保開ケ遊戯許スノ號笛アリ是  
 ニ於テ藝能アル水兵共ハ各自ニ其ノ妙音ヲ弄シ果テハ愉快ナル水兵躍トナリ衆ヲ娛マシメタ  
 リ

斯カル娛樂モ長クハ許サレス忽チ水雷艇防禦ノ號音響キ渡リケレハ恰モ手弄師カ換ヘ業ヲ爲セ  
 ルカ如ク衆皆散シテ一舉ニ戰鬪配置ニ就キタリ斯テ砲ノ用意モ整ヒ曉迄ノ當直割モ濟ミタル後  
 ハ非番當直ニハ解散ヲ命セラレタルモ遊戯ハ再催サレス是最早其ノ時ニアラサレハナリ次テ鈞  
 床ヲ卸シ艦内復元ノ靜肅ニ還レリ

翌早朝亞弗利加大陸ヲ發見シ戰隊ハ速力ヲ加ヘタリ左正横ニ當リ遙ニ我カ巡洋艦隊ト母艦ニ伴  
 ヘル驅逐隊ヲ見ルヒ時三十分總員ヲ上甲板ニ呼ヒ投錨用意ニ就カシム其ノ配置ニ立テル士官下  
 士卒何レモ異域ノ風光ニ眸ヲ凝ラセリ山脚ハ斷崖トナリテ海ニ入り樹木之ニ生シテ鬱蒼タリ此  
 ノ中ヨリ砲臺ノ見ユル所モアリ山中腹ニ市街ヲ建ツ市街ハ白塗ノ低キ家屋ヨリ成リ又其ノ屋  
 根ハ平ニ物見臺ト窓トヲ有スル一種ノ構造ナルカ太陽ノ光ニ輝キ丹碧ノ反射ヲ送レリ港内ニハ  
 佛國裝甲巡洋艦並ニ英國巡洋艦「ダイアナ」及ヒ商船一隻碇泊シアリ此ノ英國商船ハ兩國諸港ノ間

ニ定期航海ヲナセルモノナリ其ノ他小形帆船ノ多数モ見受ケラレタリ十月二十九日午前八時三十分先ツ此等外國軍艦ト成規ノ禮砲ヲ交換シ終リ市ノ北八〇度東水深十七尋底質礫ノ地點ニ投錨セリ其ノリバツヲ出テシ以來實ニ一千八百八十九渾ノ航程ナリ戰隊ノ各艦カ碇泊シタル後旗艦ヨリ二十一發ノ皇禮砲ヲ放テ陸上砲臺ヨリ同數ノ答砲ヲ得タリ正午驅逐隊及ヒ巡洋艦隊モ次テ入港陸岸ニ近ク投錨シ「アウローラ」ヨリハ直ニ負傷アナスタシト僧正ヲ佛國病院ニ送レリ同人ノ容體其ノ後モ頗ル危篤ナリト聞ク我ハ此ノ事實ヲ秘スルニ拘ラス佛國新聞ニハ同僧正ハ航海中誤テ機關室ニ滑リ落テ負傷シタルナリト揭ケタリ午後二時英國二等巡洋艦「ドーリス」入港禮砲ヲ放マス直ニ「ダイアナ」ニ接近シ頻ニ信號ヲ交換シツ、アリシカ「ダイアナ」ヨリ士官ヲ載セタル端艇「ドーリス」ニ著キシト見エシカ少時ニシテ我カ艦隊側ヲ通航シ外洋ニ出テタリサルニテモ此ノ時ハ後甲板ニ衛兵隊ヲ整列セリ

午後三時四十五分第二巡洋艦隊入港投錨セリ

午後六時十七分母艦「コレーヤ」及ヒ第一驅逐隊ハ訓令ヲ受ケアルジールニ向ケ出港セリ七時

三十分ヨリ木艦石炭搭載ヲ初メ獨船「デルチア」ヲ横著ケ其ノ事業ニ取掛リタリ然ルニ此ノ碇泊位置ニ在リテハ北ノ強潮流ト西ノ長濤トノ作用ニテ横著ケ商船ニ甚シキ動搖ヲ來シ探炭意ノ如クナラサルノミナラス運炭船ニモ損傷ヲ招クノ恐アルヲ見タリ果セル哉事業ヲ始メシヨリ三十五分時ヲ經テ「デルチア」ハ「ウオーター」ヲ凹マシタレハ船長ハ横著ケ探炭法ヲ拒絶セリ依テ此ノ旨幕僚ニ届出テタルトコロ司令官ヨリ探炭見合セトノ命令アリ次テ翌早朝木艦ハ碇場ヲ東方

陸岸近ク變更シ木艦自ラ運炭船ノ風上ニ立ツニ於テハ斯カル不都合ナカルヘキヲ察シタルニ實際希望通り運ヒ約二時間ハ至テ好都合ニ拂リシモ其ノ以後矢張事業ヲ停止スルノ已ムヲ得サルニ至リ再舊位置ニ歸投セリ

十月三十日午前八時母艦「キータイ」及ヒ第二驅逐隊出港アルジールニ向ヒ次テ英艦「ダイアナ」モ亦出港セリ

正午ノ頃司令官「フェリケルザム」地方長官訪問ノ爲メ上陸サル同官ノ陸ニ上ルヤ直ニ砲臺ヨリ十七發ノ禮砲ヲ放テリ司令官ハ我カ總領事館ヲ訪問シ爰ニモロツコ支丹ノ太守ト會見セリ次テ太守カ領事館ヲ退去スル「オスラービヤ」ヨリ十七發ノ答砲ヲ放テリ

爰ニ全ク無根ノ風説流布セラレタリ曰ク英國ハモロツコノ中立ヲ破ルヘキ露國艦隊ノ碇泊ヲ許サ、ランコトヲ太守ニ勸告セリ之ニ對スル太守ノ答ハ中立問題ハ余之ヲ知ラス唯余ヲ訪問セル露國善良ノ人士アルヲ知レルノミ斯ノ如キ言ヲナス卿等ハ抑何人ナルヤト

アナスタシ一僧正ハ手術其ノ功ヲ奏セス遂ニ佛國病院ニ於テ死亡シ禮ヲ備ヘテ之ヲ耶穌教墓地ニ葬リタリト聞ク夕刻ノ頃波濤高ク舷側探炭ハ頗ル覺束ナカリシモ七時三十分汽船「デルチア」來著シ事業ヲ開始セリ正午ノ刻ニ到リ波濤倍高ク船ノ動搖亦倍加リ舷々相打ツニ至リ汽船ニハ凹ミヲ生シ本艦ハ「ボート」ダビット「フニ」ヲ損シ又「ウオーター」ヲ凹マシ「ウエー」ノ舷側ヲ打チテ鐵板ニ缺裂ヲ生セシメタリ是ニ於テ〇時三十分事業ヲ止メ自今以後横著ケ探炭法ハ全ク之ヲ斷念セリ此ノ如キ不都合ナル狀況ハ遂ニ翌日ヨリ大艇ヲ使用スルコトニ換ヘタリシモ是亦事業ノ遅キト曳船ノ



危険ナル等ノ不都合アリ爲メ十月三十一日ノ正午ニハ所要ノ額ヲ得サリシモ全ク採炭ヲ中止セリ  
 土地ノ住民ハ一般ニ我カ艦ノ東航ニ同情ヲ表シ糧食共ノ他必要ノ需品ハ商人ヨリ潤澤ニ調達サ  
 レタリ尤價格ハ法外ニ高カリキ上陸ハ公用ノ者ニ限り許サレタルカ是モ空シク歸艦スル程ニ不  
 便ナリ汽船竝ニ帆船ヲ著クヘキ棧橋ナトハ全ク之無ク載貨ヲ陸揚ケセントスル端艇ハ沙濱ニ擱  
 上シ共ヨリ撓手ハズボンヲ捲リ負ヘルタケヲ幾回ニモ持運フナリ時トシテハ多クノ載貨ヲ有ス  
 ル端艇ハ陸ヨリ六十間以内ニ近ツク能ハサルコトアリ又退潮ノ時トハ尤困難ナリトス此ノ如  
 ク陸揚方ハ至テ遲鈍ニ行ハレ吾人ノ目ニハ斯カル有様ヲ坐視スルニ忍ヒサルコトアリ但小艇ノ  
 爲メ岸ヨリ七十間ノ間木ノ棧橋ヲ設ケ共ノ端ニハ通常ノ街燈ヲ建テアリ是乗客及ヒ共ノ手荷物  
 ヲ汽船ニ運フ唯一ノ設備ナリ人若シ漸クニシテ此ノ棧橋ノ階段ヲ上リタルトキハ忽チ案内人ノ  
 群集ニ取圍マレ惱マサルヘシ其ノ無作法ナルハ此ノ人種ノ普通ノコトナレハ五月蠅ク附纏ハレ  
 テ孔ヲケノ棧橋ニ躑躅スルヨリハ寧ロ早ク此等ノ一人ヲ傭入ル、ニ若カス棧橋ニハ又輕便鐵  
 道アリ棧橋ヨリ出ツレハ荒廢セル古代ノ外廓アリテ門アリ門前ニハ市場即チ貨物ノ集積場アリ  
 此ノ邊ニ來リテハ行クモ還ルモナラス立往生ヲナスコトアリ商估ノ賣聲勞働者及ヒ羊追ヒノ叫  
 喚カ群羊ノ鳴聲ト相和シ其ノ喧噪雜沓目モ眩マン計リナリ門ヲ入レハ稍靜ナルモタンジール街  
 ノ迷路ニ入ルヤ又其ノ不潔ト荒廢ノ狀ハ言語ニ絶セリ建造物トナク道路橋梁トナク塵埃堆積シ  
 又塵ノ積ラサル所ハ形ヲナス人家ノ窓ハ明放セルモ戸ハ鎖シアリ室内ハ圓トシテ人ナキカ如  
 シ市外ニ小森アリ太陽ノ熱ヲ遮レル綠陰甚タ涼シク塵街ヲ散步シタル後ニ來レハ大ニ爽快ヲ感

セリ

太平洋第二艦隊司令長官ノ戰策ニ基キ艦隊ノ一部位ニ黑海ヨリ投合スヘキ豫定ナル運送船ノ大  
 部分ハ此處ヨリ別レテ支隊ヲ編成シ司令官海軍少將フエリケルザムノ指揮ノ下ニ蘇士運河ヲ通  
 航シ爾餘ノ艦船ハ喜望峯迂回ト定メラレタリ此ノ支隊ヲ編成スヘキ軍艦ハ「シツイ、ウエリーキー」  
 (旗艦)「ナリリン」二等巡洋艦「スウエトラーナ」「アルマーズ」「ジエムチウグ」第一驅逐隊「プレスチヤー」  
 「ボードルイ」「ベズウプリヨーチヌイ」第二驅逐隊「ブイヌイ」「ブイスツルイ」及ヒ「ブラーウイ」運送船「ヤ  
 ロスラーウリ」「キーエフ」「タムボフ」「ウラザー」「ミル」「ウオロー」「子ジ」「ゴルチヤー」「ゴフ」「キータイ」「ユピー」「テル」  
 及ヒ「メルク」「リヤ」「トス」

十一月三日早朝「スウオーロフ」ヨリ無線電信ニテ「何レニ碇泊スルヤ」ト問來リタレハ司令官ヨリ各  
 艦碇泊ノ位置ト第一艦隊ニ屬スル運炭船ヲ用意シ置ク旨ヲ答ヘラレタリ正午四隻ヨリ成ル英國  
 巡洋艦隊地中海ニ入レリ外觀ニヨレハ二十八日我カ艦隊ト洋中ニ遭遇シタルモノ、如シ此ノ外  
 英國驅逐艦一隻入港シ巡洋艦「ダイアナ」ノ附近ニ投錨頻ニ信號ヲ交換セリ

午後一時地平線ニ第一艦隊現レ二時二十五分英國軍艦竝ニ陸上砲臺ト禮砲ヲ交換シタル後第二  
 艦隊ノ沖ニ投錨ス此ノ時第二艦隊ハ既ニ軍需品ノ搭載及ヒ陸上トノ用辨ヲ終リ今ニモ出港ノ準  
 備整頓シアリタリ英國裝甲巡洋艦「ランカスター」港内ニ入りテ碇泊シ自國軍艦ト二三回信號ヲ交  
 換シタル後出港セリ

第一艦隊ノタンジール入港ハ大ニ在タンジール露國人ノ人意ヲ強クシ爾來銷沈シタル元氣ヲ復

活セシムルモノアリ蓋二十一日ノ夜日耳曼海ニ於ル椿事ハ端ナク世間ノ耳目ヲ惹キシカ殊ニ佛國新聞ノ筆鋒ハ我カ國ニ取リ好マシキモノニアラサレハナリ各新聞トモ外交談判モ最早此ノ上交渉ヲ重ヌルノ餘地ヲ存セス英露ノ間ニ干戈ヲ交フルノ機間一髪ニ迫リタルモノ、如シナト記載シ又此ノ葛藤ノ解決ヲ見ル迄ハ若干時ノ間當事者タル艦隊ノ東航ヲ抑留スヘシナト鼓吹スル新聞モアリタリ實ニ此ノ時程危機ノ切迫セルコトナカリシ之カ擺脫ハ一ニ我カ外交當局者カ由來露國ト相善カラサル國ニ向ヒ樽俎折衝ノ巧拙如何ニ在リテ存セリ

然ルニ總テ如上ノ風聞ヤ論說ハ此ノ際我等露國海軍人ノ心ヲ痛メシモノ妙カラサリシモ爰ニ勅電ヲ賜ハリ拭フカ如ク終リヲ告ケタリ勅電ニ曰ク

朕ハ須臾モ卿等ト朕カ艦隊トヲ忘レス若シ夫今回交親國トノ間ニ構ヘタル誤解ニ至テハ朕有司ニ命シ折衝セシメタリ其ノ終局ヲ見ル將ニ近キニアラントス全露西亞帝國ハ深ク卿等ニ信頼シ卿等ノ前途ニ絶大ノ希望ヲ有スルモノナリ

叔冒ハ炳乎トシテ日月ヲ視ルカ如ク爰ニ一同ハ愁眉ヲ開キ初テ元ノ心ニ復シ唯此ノ上ハ倍奮勵誓テ吾人ノ雙肩ニ負フ大任ヲ果サント期スルアルノミ是全艦隊ノ乗員上下擧テ言ハント欲スル所ナリ此ニ對スル司令長官ノ奉答文ハ左ノ如シ

全艦隊ハ一心トナリ宸襟ヲ安シ奉ランコトヲ期ス陛下ノ命シ給フ所ハ何事ト雖モ之ヲ遂行スヘシ「ウラー」

是又國難ニ赴カントスル祖國露西亞ノ子弟カ各共ノ義務ノ遂行ニ熱誠ナルノ衷情ヲ遺憾ナク寫

シ得タルモノナリ

艦隊ハ前進スヘカリシモ日耳曼海事件ニ付交渉ノ材料ヲ蒐集スル爲メベテルブルグニ委員會組織サレシ爲メ將校若干名ヲ退艦歸京セシムルコト、ナリ此ノ大半ハ當事者タル第一戰隊ヨリ出デタリ午後七時四十分蘇士通航支隊ハ軍需品ノ搭載ヲ終リ拔錨出港單縱陣ヲ制リジブラタル海峡ニ向ヘリ十時四十分タリフワ燈臺ヲ通過シ十一時三十五分エウロナ及ヒアスミナノ燈臺ヲ發見セリ此ノ時ノ天測位置北緯三六度西徑五度十五分三十秒ニシテ是ヨリ針路ヲ東トシ陸岸ニ平行シテ進行セリ灰色ノ空ニ雨雲懸リ海面ニハ波漸ク高ク急ニ其ノ力八ニ達スル東ノ風起ルナトハ全ク北方ノ秋ノ氣候ナリ艦内ノ總舷窓スカイライイト「ハッチ」ハ皆密閉サレ錨鎖及ヒ大砲ヲ「シーセク」アリシタリ稍縱動ヲ感セシモ別段之カ爲メ艦内ノ秩序ヲ攪亂スルニ至ラス翌二日目ノ朝針路ノ左ニ當リ反航セル英國巡洋艦「ハイフライア」ヲ見ル七時五十分正横ニ行キカハル時彼ハ將旗ニ對シ十三發ノ禮砲ヲ放チ我カ支隊ノ殿艦ト竝ヒタル頃十六點ニ轉回シ我ト平行ニ我カ右舷ヨリ十五鏈以内ノ距離ヲ維持シ終日尾行セリ

十一月四日午後二時十五分アボラン島ヲ南方一六度東ニ發見シ同島ノ北方六度半ヲ通過シ其ヨリ北七八度東ニ變針シ亞弗利加岸ヲ離レタリ此ノ針路ハテネツツ燈臺ニ向掛ケタルモノニシテ此ノ燈臺ヲ五日午後四時二十分八哩ノ距離ニ通過セリ此ノ日終日曇天ニテ溫度冷ナリ風ハ依然トシテ東ナリケレハ向風ニ向波トナリ艦ノ軸部ハ始終波ヲ蒙リ其ノ舳部ヲ波ニ没スルカト思ヘハ忽チ揚リ其ノ掬ハレタル水ハ奔リテ濤トナリ激シテ飛沫トナリ虹トナリ高ク艦橋ニ及フ其ノ

壯觀言フ可カラス然レトモ危険モ亦無シトセス終日ノ動搖ニヨリ右舷バウ錨ノ錨鎖ヲ固縛セル  
 「ホーサー」ニ拉張ヲ來シ今ニモ切斷スルノ狀見エ若シ切斷シタランニハ由々敷結果ヲ見ルヘキヲ  
 以テ如何ニモシテ更ニ固縛ヲ強メンコト必要トナリ掌帆長ニ五名ノ水兵ヲ授ケ之ニ當ラシメタ  
 ルカ事業中度々大波ヲ蒙リ或時ノ如キハ一名ノ水兵ハ反對ノ舷側ニ流サレ胴ハ舷外ニ掛リナカ  
 ラ堅ク「レール」ヲ把ミタル爲メ一命ヲ助カリ掌帆長ハ流サレテ「ウヰンチ」ノ間ニ介マリ之ヲ外シ出  
 ス爲メ力ヲ要スル程ナリ然レトモ事業員ノ沈著ト當直將校ノ注意ニヨリ一人モ舷外ニ落チタ  
 ルモノ無ク掌帆長ハ部下ヲ勵マシ波間ヲ見テ首尾克ク固縛ヲ成シ遂ケタリ五日午前九時三十分  
 巡洋艦「スウェトラーナ」ハ「アルジュール」ニ在ル驅逐艦ニ成ルヘク早く出港シ得ル手段ヲ盡シ支隊ニ  
 合スヘシトノ司令官ノ命ヲ傳ヘン爲メ列ヲ離レ同港ニ向ヒタリ又同艦ハ使命ヲ終リタレハ早速  
 出港本夜正子アルジュールノ經度ニ達スヘキ豫定ナルヲ以テ同點ニ於テ歸投スヘキ旨ヲ授ケラレ  
 タリ天候ハ次第ニ平穩ニ復シ翌曉ニ至リテハ晴レ渡リタル天色地平線ノ雲間ニ漏ル、朝日ノ光  
 リ輝キ微風等正シク本日ノ炎暑ヲ豫告シタリ  
 尾行シ來レル英國巡洋艦ハ最早視界ニハ居ラス察スルニ我ヨリ前程ニ在ルモノナラン何トナレ  
 ハ昨夕既ニ著シク正横前ニ見エタレハナリ  
 午後一時亞弗利加大陸ヲ見ル四時二十分テ子ツツ燈臺ヲ正横八哩ニ見テ針路ヲ東ニシシエルシ  
 エルサキシーンマチフカデフエルカブデガルドルザ及ヒボナ等ノ燈臺ヲ通過セリ  
 是ヨリ先キ正子ノ頃巡洋艦「スウェトラーナ」ヨリ無線電信アリ曰ク驅逐艦ヲ見ス昨朝出港セリト

ノコトナリ母艦キーマイ「ハ本日即チ五日午後五時出港シタリ本艦ハ支隊ニ合シツ、アリ戰況ニ  
 關スル報道新聞紙上ニ無シト斯テ午前一時「スウェトラーナ」ハ番號燈ヲ示シ自己ノ舊位ニ入レリ  
 天候ハ良好ニ向日暖ク海靜ニ鬱蒼タル亞大陸ノ岸ノ眺ナトハ今日迄ノ良航海ナリキ十一月七  
 日午後七時二十五分ハンテラリヤ島ノ北五哩半ヲ通過シシシリ島ノ南端ニ向ケマルタ島ヲ遠  
 距離ニ退キタリ  
 十一月八日拂曉夜來ノ暴雨霽レ雷鳴亦收リタル後シシリ島南端ヲ左舷ニ發見シ八時三十分之  
 フ五哩半ニ見テ航セリ其ノ距離遠キカ爲メ有名ナル景色モ漸ク之ヲ一瞥シタルニ過キス此ノ角  
 フカハリタル後木艦シソイ「ハ左舷」ノ「コンデンサー」チユー「プ」ニ故障ヲ生シ爲メニ左舷機ヲ停止シ  
 微速ニシテ行進スルノ止ムヲ得サルニ至リシモ纔三十分ニシテ修理シ原速ニ復セリ此ノ間艦員  
 ハ何レモ上甲板ニ集リ餘念ナク陸上ノ景色ヲ眺メタリ  
 午前十時四十五分サンバツサル角ノ燈臺ヲ北三〇度西九哩半ニ見テ針路ヲクリート島ノ北西端  
 ニ向ケ南八三度東ト定メタリ此ノ針路ニテハ天候良好ナリ翌九日ノ朝左舷艦首東北東ニ簇岩ヲ  
 發見シ次テ半時間ヲ經テ五時四十五分艦首ニクリート島ヲ發見シ同島ノ北西端ニ突掛ケ七時二  
 十分共ノ針路ヲ正横八哩ニセリゴツト島ヲ通過シタリ九時三十分巡洋艦複數ハ司令官ノ命令ニ  
 ヨリ隊列ヲ離レ木艦ヨリ先方ニ航進セリ是ノ命令中ニハ戰艦隊ノ港口ニ入ルト同時ニ艦隊ノ編  
 制ヲ解クコト、或艦ハ水路ヲ探究シ標識ヲ置クコト又或艦ハ如何ナル艦船カ港内ニ碇泊シアル  
 ヤヲ見テ之ヲ復命スヘント云フニ在リ十一時ヲ過キ遙ニ山岳ノ中腹處々斷崖ヲナシ飛瀑之ニ懸

リ密樹ノ蒼生スルヲ見ル中ニカチヤノ市街海岸ニ出現セリカチヤノ市街ヲ目撃スルヤ忽チ人ヲシテ聯想セシムルモノアリ开ハ此ノ不幸ナル島住民ノ歴史ニシテ約二世紀間長年月ニ互リ回々教徒ノ羈絆ヲ脱セント欲シ幾回カ武器ヲ手ニシテ立チ又幾回カ仆レ具ニ辛苦艱難ヲ嘗メシモ更ニ何ノ得ル所モナカリシカ一八九六年ニ至リ有形無形ノ辛苦カ其ノ極度ニ達シ財力ハ已ニ蕩盡シ精力モ亦已ニ消沈シ最早此ノ以上犠牲ヲ拂フノ餘裕ナキニ迫リ爰ニ却テ島民ノ義憤トナリ又其ノ唯一ノ同族タル希臘國民ノ援助ヲ得年ノ五月毅然反旗ヲ繼シ戰術ノ規則ニ基キ土耳其人ニ奇襲ヲ加ヘ八月ニ入り希臘ノ軍隊ニテ全島ヲ占領シ次テ歐洲列強ノ干涉トナリ遂ニクリート島ヲシテ土耳其ノ羈絆ヲ脱セシメタル次第ナリ

共ヨリ更ニ進ンテスタダ灣ニ到ル港口ハ狹ケレトモ水深ク港ハ内部ニ彎入シ其ノ周圍ノ山高ク北北東ノ外總テノ風ヲ避ケ水深底質宜シキニ適シ又糧食需品ノ調達ニ便アリスタダ灣ハ實ニ大軍艦ノ好錨地ヲナセリ入口ノ右岸ニ砲臺アリ是ニハ露佛伊希四國ノ旗ヲ掲ク即チ獨立ニ加増セシ列強ナリ此ノ對岸ニイツジテイ村アリ此處ヨリ約十哩ヲ隔テタルト見ユル所ニ土耳其人ノ舊砲臺アレトモ今ハ全ク廢滅セリ然レトモ一見如何ニ往時其ノ構造ノ雄大ニシテ灣口ヲ制スルノ要地ニアリシヤヲ想見スルニ足レ此ノ附近尙一棟ノ宏壯ナル建造物アリ即チ監獄ニシテ島内大切ノ犯罪人ヲ收容スル所ナリ希臘兵之ヲ監守シ之カ爲メ必要ナル附屬建物ヲモ設ケタリ

港口ノ兩岬ヲカハリタル後支隊ノ各艦ハ港ト謂ハンヨリ寧ロ兩岸ノ高キ河ノ中央ヲ航行セリ港ノ外觀ハ其ノ港奥ニ界低地アリテ此處ニ雨潦又ハ溪流ヲ溜メル貯水池アルカ爲メ尙一層長ク見

エシナリ右岸ハ巖骨ヲ露シ樹木ヲ生セス唯矮小ナル灌木ヲ見ルノミ其ノ山脚海ニ入ル所ハ陡界ヲナシ端舟スヲ著クルコト難カルヘン左岸ハ全ク之ニ反對シ人工ノ修飾ヲ加ヘタル跡アリイツジテイ村ヨリ山ノ傾斜面ニ據リカチヤニ到ル良好ナル道路ヲ通シ處々ニ溝渠ヲ設ケ以テ山腹ヨリ奔注スル多量ノ水ヲ排泄ス此等ノ水ハ我カ艦隊ノ碇泊中端舟ニテ採取セシモノナリ同村ノ附近ニアル岬ヲ廻リ別ニ一小澳アリ此處ニハ全ク風波ヲ避ケ往時要塞ニ糧食需品ヲ供給スルカ爲メ汽帆船ヲ繫留シタルコトアリト其カ爲メ相當ナル水深マテ石垣ヲ築キ繫留装置モ設ケアリ然レトモ今ハ全ク此ノ用ナシ此ノ外尙輕便鐵道起重機等カ半ハ土ニ埋レタルアリ舊式砲ヲ据ユタル砲臺ノ礎石セメント作りノ貯水槽竝ニ之ニ通スル鐵管等ノ廢殘物アリ陸岸ハ處々ニ樹木鬱生シ翠色濃ヤカナル裡ニ白聖ノ家屋ヲ散見ス尙進ンテ港奥ノ南西岸ニ當ル山腹ニスタダ邑ヲ見ル邑ハ歐風建築ニ係ル十五軒ノ家屋ヨリ成リ其ノ端ニ佛國衛戍兵ノ大兵舎アリ岸ニ沿ヒ道ヲ通セルカ處處崩レテ水中ニ陥リ爲メニ端舟ノ著ケ方ヲ妨ク又兵舎ニハ通水管ヲ通セルモ設備甚マ疎笨見ルニ足ラス兵舎ノ背後ニ我カ海軍墓地アリ一八九七年三月廿八日木艦「ソイ」ニ於テ教練射撃ヲ行ヒシ時一二尹砲ヲ早發シタル爲メ不幸ニモ死没シタル兵員ヲ葬レリト云フ港内碇泊ノ艦船ハ運送船「キータイ」「ゴルチャイ」「ゴフ」トヲテツサヨリ來會セル「ヤロスラーウリ」「ウオロー子ジ」「ウラザーミル」驅逐艦巡洋艦及ヒ伊國警備艦「ミチルバ」「イウリデツク」佛國水雷巡洋艦「コンドル」及ヒ獨國旗ヲ掲グル運炭船三隻ナリ此等ト禮砲ヲ交換シ終テ各戰艦ハ投錨セリ

支隊ノ各艦投錨シ終ルヤ汽艦消火機關部ノ検査ヲ命セラレタリ無敵ノ端舟早ヤ艦ノ周圍ニ來集

些ナル商品ヲ販賣スルモノアリ又嘗テ露國艦隊ニ信用ヲ得タルモノナリト自身ヲ紹介スル受  
負商人モアリ機關部ノ修理工事ノ小ナルハ陸上ニ於テ之ヲ行ヒ差支ナシトノ命アリ尙其ノ損傷  
ノ大ナル驅逐艦「ボードルイ」ハビレーニ派遣ヲ命セラレタリ